



阿賀町 議会だより

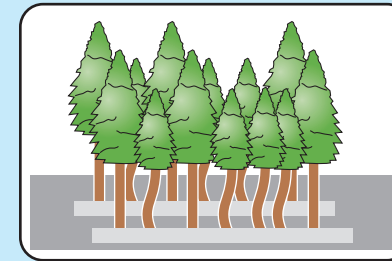


完成待たれる新津川トンネル

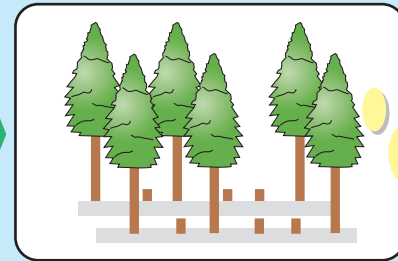
カーボン・オフセット制度とは!!

カーボン・オフセットとは、森林が吸収したCO₂（二酸化炭素）をクレジットとして購入し、個人や企業が排出したCO₂と相殺（オフセット）する仕組みです。

クレジットとして発行できる森林とは〈間伐した森林〉+〈きちんと管理されている森林〉であることが必須条件です。



間伐



- ①間伐することでCO₂吸収力を高度に発揮させること
- ②CO₂吸収力が消失しないように管理すること

〈CO₂吸収収量〉
 ・地位3におけるスギ30年生人工林
 ・1haあたり10t / ha吸収として推計

CO₂は1tあたり1万～2万で販売予定です。

平成22年度の一般会計決算見込み速報～値!!

歳入・歳出予算総額は151億6,437万円で歳入の決算額は143億6,576万1千円、歳出決算は138億4,284万6千円となる見込みで差引収支額は5億2,291万5千円で次年度への繰越明許費を差し引いた〈実質収支額〉は**4億2,761万2千円の黒字**となる見込みとなりましたが、詳細は9月決算議会で報告します。

No.25
2011.8

発行：阿賀町議会 ☎0254-92-3112
新潟県東蒲原郡阿賀町津川1580番地
発行責任者：議長 斎藤秀雄

6月定例会	2～3P
委員会報告	4～5P
9人が一般質問	6～14P
避難者の声	15P

広報対策特別委員会
 委員長 神田 八郎
 副委員長 小池 隆晴
 委員 高宮 勝見
 委員 宮澤 隆
 委員 橋本 勝
 委員 清田 輝
 委員 倉政 盛子

▼日報に掲載中の五木寛之原作の親鸞が佳境に入っている。
 妻えしん恵信の故郷の越後に流罪の身となった親鸞が民、百姓を相手に極楽往生と念仏の狭間はざまで葛藤する日々を送る。
 ▼先日、東日本大震災での行方不明者数が一気に2千人近くも減り5千人程になった。どうしてだろうと見てみると、震災から4ヶ月を迎えるに当り、葬儀や供養等、遺族の方々の心の整理と云った意味合での死亡届の決断の結果であるらしい。
 新メンバーの広報委員ですが、2年間よろしくお願ひします。
 (神田)

編集後記

一般会計6月補正予算1億612万円追加 総額124億64,356千円

平成23年度第2回定例会が21日に召集され、9人の一般質問について、第三セクター財務諸表7件、繰越明許費計算書4件の報告、補正予算5件、建設工事請負契約の締結等について7件、追加議案2件、請願1件の議案が提出され、原案どおり、可決、承認された。

歳出の主なもの

- *総務費
 - ・地域コミュニティ助成事業 650万円
 - ・木質バイオマス利活用推進事業 1,248万1千円
- *民生費
 - ・介護基盤緊急整備事業 874万7千円
 - ・東日本大震災対応事業 927万6千円
- *農林水産業費
 - ・県単農業農村整備事業 2,570万円
 - ・一般農業施設管理費 190万円
 - ・県単林道改良舗装事業 1,010万円
- *消防費
 - ・負担金補助及び交付金 500万円

- *特別会計補正
 - ・診療所事業 190万7千円追加
 - 総額 2億6,867万5千円
- *簡易水道事業
 - 総額 697万8千円追加
 - 総額 11億1,435万円
- *下水道事業
 - 総額 373万円追加
 - 総額 10億5,689万2千円
- *水道事業
 - ・収益的支出補正 243万5千円追加
 - 水道事業費用 1億4,893万4千円
 - 総額 1億4,893万4千円
- *資本的支出補正
 - 資本的支出 169万7千円追加
 - 総額 9,000万1千円
- *緑越明許費
 - 平成23年度への繰越明許費とした繰越事業に充当すべき一般財源 9,351万2千円
- *総務費
 - ・集会施設管理事業（施設修繕費） 2,757万7千円
- *保育費
 - ・保育園整備事業 3,013万8千円
- *農林水産業費
 - ・林道維持管理費（林道改良等） 5,990万3千円
 - ・森林環境保全整備事業 1億2,977万2千円
- *土工費
 - ・新三川温泉施設管理費 1,038万4千円
- *土木費
 - ・道路橋りょう維持管理費（町道補修等） 5,423万6千円
 - ・道路新設改良事業 1億668万円
- *消防費
 - ・非常備消防施設整備事業 4,422万4千円
 - ・教育費 3,498万7千円
 - ・郷土資料館管理運営事業 7,972万6千円
 - ・災害復旧費 7,972万6千円



変わりはた消防署(東松島矢本)



期待を集めるバイオマス工場予定地(九島)

備品購入契約の締結について

- *告知端末(テレビ電話)用無停電電源装置(バッテリー)購入事業
- テレビ電話用バッテリー(FUJICU-A501)
- 契約の方法 随意契約
- 契約の金額 7,761万6千円
- 契約の相手 株式会社NTT東日本—新潟

追加議案

- 財産の取得について2件
- *名称・種別・数量
- 建設機械(ロータリ除雪車本庁配備) 1台
- 契約の金額 1,932万円
- 契約の相手 株式会社日立自動車
- *名称・種別
- 建設機械(ロータリ除雪車上川支所配備) 1台
- 契約の金額 2,089万5千円
- 契約の相手 株式会社日立自動車

阿賀町暴力団排除条例の制定について

阿賀町においては、公営住宅からの暴力団排除や生活保護の支給事務からの暴力団排除などを進められておりますが、さらに徹底して各種の事務事業から暴力団排除を進めていくため、暴力団排除に関する町条例が制定、施行が不可欠であり同条例の制定の提案があり採択された。



活躍が期待されるロータリ車

報告

(第三セクター財務諸表)

- *奥阿賀観光(株)
 - 当期純損失 1,990万3,568円
- *株上川温泉
 - 当期純損失 351万4,401円
- *株阿賀の里
 - 当期純損失 426万6,085円
- *株ホテルみかわ
 - 当期純損失 1,317万3,061円
- *株キャニオンパーク
 - 当期純損失 9万9,748円
- *株(財)上川農業振興公社
 - 当期収支差額 38万5,145円
 - 次期繰越収支差額 309万3,599円
- *株(財)三川農業振興公社
 - 当期収支差額 Δ158万5,947円
 - 次期繰越収支差額 1,006万5,092円

建設工事請負契約の締結について

- 木質バイオマス利活用推進事業
 - *木質バイオマス燃料等製造施設建築本體工事
 - 契約の金額 1億3,944万円
 - 契約の相手 株式会社木質バイオマス燃料等製造施設機械設備工事
- 木質バイオマス利活用推進事業
 - *津川高原保養センター木質ペレットボイラー設置等工事(機械設備)
 - 契約の金額 8,904万円
 - 契約の相手 安田設備工業株式会社東蒲営業所

木質バイオマス燃料等製造施設機械設備工事

30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見者が提出され採択された。

町内各小・中学校の現況調査

総務文教

委員長 石川 太一

去る6月17日(1)町内各小・中学校施設の現況(2)社会体育施設の維持管理状況(3)学校教育の現況と課題の調査を実施した。

(1)各小中学校の施設管理では清掃も行き届き、子供達の元気な挨拶に感心させられました。

各学校とも修繕や改善要望があり、現場を確認の上、学校教育課に対処方を要望しました。

(2)津川B&Gテニスコートと町漕艇庫艇庫は改修され、きれいに整備されています。

町艇庫は来年の高校総体の泊り会場として使用されるが、宿泊

・研修施設も改修されたことからインターネット等を活用し利用者の誘致運動を展開するよう要望した。

(3)学校教育の課題としては、スクールバスの継続の要望がありました。特別支援学級のある学校では介助員・学習指導員の配置に感謝の弁がありました。

ただ各学校とも年々児童数の減少に伴い、先生の数も減少されることから、免許を持った先生の確保への強い要望があり、町当局にその対策方を要請しました。

スポーツに勉強にがんばろうネ!



委員会閉会中の 継続調査報告

地域活動総合支援センター他

社会厚生

委員長 石田 守家

6月8日、総合支援センター「たんぼぼ」を視察した。

「生活介護事業」「学童保育」「障害者自立支援」そして「地域の集会所」等と多機能の施設として昨年の12月に竣工した。

就労支援登録者は18名で、きりん荘の洗濯委託も受け、自立に向けた努力をしていた。

「喫茶たんぼぼ」についてはもう少し宣伝の必要を感じた。

小規模多機能型福祉施設の整備については、現在1社が農振転用申請中であり、他に3社があるとのことで6月下旬頃から事業申請をまとめ8月下旬頃に事業認可の見通しとのことであった。

平成13年に竣工した養護老人ホームきりん荘においては現在64名が入居し、事業計画や管理



地域活動総合支援センター(たんぼぼ)

体制、保健衛生面等、適格に運営され良好でした。

岩谷將軍亭等を視察

産業建設

委員長 佐藤 郁夫

6月13日、①岩谷將軍亭活用状況②綱木簡易水道水源削井工事③町道上空野線改良事業④木質ペレット建設予定地の視察を実施した。

①地元産にこだわった直売所として岩谷地区で採られた野菜、山野草等、同加工センターで製造した商品を直売していた。

又、「おからドーナツ」は一日に500個程売れ活況を呈していた。

②当地区では、今回水源を井戸水に切り替えることで地区住民287人に安定した飲料水が供給できる。

③芦沢から段の山までの延長600m、幅員4mの新設改良工事である。民家、2戸の生活道路としての工事であるが、間もなく子供達と同居の予定でこの

地を離れるとのことこの事業が無駄にならないか危惧される。

④現地にて事務所、工場、貯木場等の予定地の説明を受ける。

地元の皆さんにも同主旨の説明が必要ではと感じた

新装なった將軍亭の食堂





石田 守家 議員

不法投棄罰則と 国土調査について

ゴミの投げ捨てと 罰則の実績は

質問 町内各地に不法投棄防止の立看板や旗が見うけられます。

看板には、違反した場合5年以下の懲役または1千万円以下の罰金に科すと書いてあるが、過去の実績はどうなっているのか伺います。

不法投棄巡視員を 委託している

町長

町では39名の不法投棄巡視員を委託し、冬期間を除き、毎月4回の巡視をお願いしています。その実績は平成21年度では39件で65万4千円の経費が、平成22年度では69件で57万5千円の処理費を要しています。

津川警察署管内では21年度で三川地区1件、22年度では同地区3件、上川地区

1件となっております。今後とも町の環境美化に努め、不法投棄のない町づくりに努力してまいりたいと思います。

旧町村当時の さまざまな看板

再質問

不法投棄関係の実績は理解しました。

ただし、上川地域を見回った段階では、旧町村当時の看板が多く見うけられました。合併から7年であり適正な指導を願いたい。

町長

看板がきちんとしていれば不法投棄が無くなるのであれば看板の整備もいいが問題は町民全体がそれらを駆逐するような体制、意識が大切ではないでしょうか。

国土調査は 町財政基盤の固定か

質問

一般的に言われる土木建築を初めとして13業種、その他を入れると相当な数になるのですが。

予算も小さなものの積み重ねですので、可能な限りそういう形を考えています。

登録業者が32人は あまりにも少ない

質問

すばらしい制度だと思えますが、例えば建築組合は約80人町内にいます。説明

施政方針で町長が述べている国土調査は当町全域で長期の調査が予測されるということです。

旧三川村当時の本事業は道半ばと聞いておりますがその主原因は何か。又当事業の意図するところは、町の財政基盤の安定化とも受けとめられるがどうですか伺います。

町長

旧三川村時代の国土調査については、昭和46年から

平成13年の約31年間で宅地と農地についてはほぼ終了しました。

ただ山林については土地所有者の高齢化や諸般の事情から休止状態です。

しかし今後益々の高齢化の進む中、今実施しなければ将来的に不可能であろうとの考えや、木質バイオマス事業の関連からも、山林関係の国土調査は必要とのことから本年度を準備年として実施してまいります。

再質問

調査の内容や将来的に税の加算もあり得る等の地元説明をしっかりとやって欲しい。

町長

地域での説明会を十分に実施します。また、自分の財産の特定及び確保の観点から意義あるものと思えます。



室谷区 併用林道(通称大戸沢入口)

小額で内容が 軽易な契約

質問

阿賀町が発注する小規模な工事及び修繕の契約のうち、入札参加資格申請(指名参加願)の無い方で希望する方を登録し、発注時に積極的に業者選定の対象とすることによって、町内業者の受注機会を拡大する制度です。平成21年に登録がありました。登録業者数は増えましたか。

22年度は40%減少

町長

56人から32人に減っております。理由は書類提出が面倒という声が多かった。

22年度の実績

質問

総額約4,800万円、件数にして267件、業者28業者、登録業者数の約50%で、少ないと思えますが予算総額1億円くらい組めませんか。

町長

対象としている業者は、



硅砂散布・充填状況



検証し見直しを図りたい

町長

が悪いのか、制度が誤解されているのか、検証して見る必要があるのではないのでしょうか。

建築組合の皆さんも、一度この取り組みについて検討してほしい。ただ数字の上から見て40%も減っているわけですから、改めて聞いてみる必要があると思っております。

決った事業者だけが 仕事がある

質問

ある業者が「決った事業者だけが仕事がある」と言っています。誤解されないようにオープンに登録業者の選定、告知方法をとっていただきたい。

ホームページ等で 情報提供

町長

周知方法は、町の商工会及びホームページで情報提供しています。これは入札でも、見積も

商工業者に 強いてこ入れを

質問

登録業者は、低迷した町の経済環境にあつては期待と希望の制度です。この制度やプレミアム商品券等、今後も阿賀町の商工業者に強いてこ入れをお願いします。

積極的に取り組みたい

町長

ぜひ事業助成を考えていきたい。皆さんも、積極的に取り組みをしていく提案もしていただきたいと思います。



使用期限/平成23年10月31日まで 東蒲原郡商工会振興協議会



五十嵐 隆 朗 議員

小規模工事契約希望者登録制度を 積極的に活用を



猪俣 誠一 議員

木質バイオを有益事業に！

【質問】 この事業の成果は、事業体連携や雇用の創設等、町の将来に寄与すべき事業である。事業計画及び運営を伺う。

公設民営で事業を行い、運営主体は町内事業者に限定し、公募型プロポーザルで決めると説明されたが、公告から審査まで一カ月程度では、参加事業者の新規創設等を考慮すればあまりにも短い。募集期間を長く取るべきである。

**公告期間50日
程度を予定**

【町長】

審査は、民間の持つ技術ノウハウと活力を期待してのことであり、ベンチャー企業として、多少のリスクを負っても成功させるといふ気構えを期待したい。公告は50日程度を予定し内容については十分に検討する。

【質問】 運営は施設貸与で

業務内容が委託事業として挙げられているが、公設民営と言われており、町の管理事業ではない。運営主体にすべてを任すべきである。

就労の場を念頭に

【町長】

林業基盤の確立のため、木質バイオを組み入れており、単に施設貸与ではなく、町主導で施設活用を図る。運営事業体の育成等新たな産業と就労の場を念頭に置き取り組む。

【質問】 雇用計画は

事業のため、人材育成の費用が予算化されているが地域雇用としてどの程度見込んでいるのか。

3人を予定

【町長】

ペレットプラントの運転にかかる部分で、緊急雇用

で3人を予定している。

**事業を見据えて
森林整備計画を**

【質問】

原材料の供給としての間伐計画は重要である。森林組合と町・県が一緒になって間伐の推進に努力しているときであり、民有林も含め、事業を見据えての整備計画および、カーボンオフセットの利用は。

具体的計画に努力

【町長】

町有林に限らず、民有林等々の理解を得、派生する未利用材の供給を考えてゆく。また、ワーキングチームを中心に、情報を共有した中で具体的計画に努力してゆく。カーボンオフセットは森林整備、環境保全の財源に充当する。



ペレット製造機(株)エコ環境システム)

**マスタープランと
実績の情報公開**

【質問】

町民の質問によくあるのが、職員の数はいくつか町の財政は大丈夫かというものです。

第一の問題は、合併時職員の多いのは理解できるがその後、適正に減らしているかという疑問です。町では、マスタープラン

というべき集中改革プラン定員適正化計画、財政運営適正化プラン等がございますが、これらとその検証結果を広報すれば、おのずと町民が理解しやすいのではないのでしょうか。

【町長】

一考に値するものと思いません。

第一次集中プランの最終年度である平成22年度の職員数の目標値は、339名でしたので、19名目標に達しませんでした。

診療所と訪問看護ステーション



猿ネットで本当に大丈夫か

シヨンの新規開設による看護師の増員、消防署分遣所の充実で増えておりますが一般職員については、計画どおりの削減となっております。

【質問】

第二の問題は、合併特例債の特例期間が4年足らずで10年経過しますが、それを見越した計画は財政運営がなされているかとの疑問です。

【町長】

合併特例債ですが、元利償還金の70%交付税措置される大変有利な制度ですが本町では10年間で約112

で3人を予定している。

**事業を見据えて
森林整備計画を**

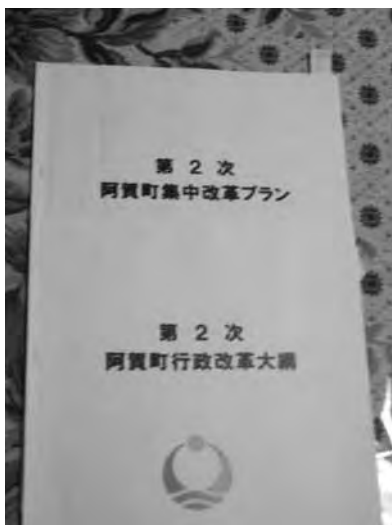
【質問】

原材料の供給としての間伐計画は重要である。森林組合と町・県が一緒になって間伐の推進に努力しているときであり、民有林も含め、事業を見据えての整備計画および、カーボンオフセットの利用は。

具体的計画に努力

【町長】

町有林に限らず、民有林等々の理解を得、派生する未利用材の供給を考えてゆく。また、ワーキングチームを中心に、情報を共有した中で具体的計画に努力してゆく。カーボンオフセットは森林整備、環境保全の財源に充当する。



実績の情報公開を

かがでしょうか。

【町長】

いろいろ対策を講じていることは、ご存じのことと思います。

昨年実績として、被害対策補助金についてサルネット17件、26万4千円、サル忌避剤48件、18万5千円電気柵が8件31万4千円の農家支援を行っております。町猟友会によるパトロールを実施し、出動も延べ741回、捕獲数223頭となっております。サルパトロール2名を雇用し100頭捕獲しておりますが、とても追いつく話ではございません。

サル被害対策の再考を

【質問】

サル被害対策について、有効かつ決定的な対策が見つかっておりません。そこで根本的に再考しなければならぬと思っております。

町政を質す

宮川 弘 議員





小池隆晴 議員

行政のサービスを問う

行政のサービスとは…

質問

先の議会報告会の場にて「要望やお願いをしても次の返事がなかなか返ってこない」という声を多く聞きました。

私たちは以前は要望といえば、箱物に対する要望がほとんどでした。今、住民は生活重視の相談が多くなっていると思います。

住民との対話を密に取ることに町の活性化につながると思います。

相手に納得の行くスピーディーな説明、相談、報告が必要かと思いますが、いかがでしょうか。

町長

住民サービスというものは我々公務員として当たり前のこと、重く受け止めて住民サービスに徹してまいります。

そのためにもワンストップサービス、案内所を設け

てサービスの向上は少しずつでも図られているものと思っております。

これからもそういう住民目線に立った業務の遂行に努めてまいります。

保育園延長時間について…

質問

保育園の第1、第3、第5の土曜日の延長についてですが、雇用の厳しい現在子供を迎えに行く時間を11時30分を12時30分頃に変更



活性化はコミュニケーションから

とはいかないものなのででしょうか。

町長

保育園の問題であります。できる取り組みはすべてやっていると思っております。

児童が保育園に入園する条件の一つに、保護者等が仕事に、あるいは求職活動により家庭での保育ができないことが挙げられますが、町の重要政策のひとつでもある子育て支援をさまざまな角度から検討を重ねています。

これからは企業の勤務形態等に合わせた形で運営していかねければならないかと思っております。改めてこの辺の検討をしたいと思っております。

質問

少子高齢化で人口の減少が急激に進んでいる。我が

町長

これからの取り組み

町長

一部縁故地域の関係者については説明致しておりますが、騒音、資材運搬、車の往来等の課題もあり、十分地域の皆さんにご理解頂ける様に説明していかねければならないと思っております。

公有林間伐計画は

質問

町有林の間伐計画と面積はどの位か、本年度計画は30haと聞きますが長期的原料確保計画を伺う。

年間千トン生産目標

町長

町有林の間伐だけで千トンのペレット生産は耐えられない。民有林、公林の供給体制の確立も必要でありこの取り組みをしていかなければならない。間伐の計画や供給体制の整備を踏まえ、検討していく考えです。

伐採から販売までの計画



宝の山となるか…

質問

伐採、搬出、生産、販売まで一貫して行うとのことですが、雇用を活性化に寄与できるのか疑問に思えるかがどうでしょうか。

再考の余地がある

町長

基本的には町からの委託事業で、プラント、事務所、附帯施設の維持管理、間伐材の運搬、ペレット製造及び販売等一括委託事業を予定しているわけですが、再考の余地があります。

活性化、雇用の場の確保を図り住民の目に見えるような雇用であったり活性化につながるようにしていきます。

木質バイオマス利活用施設整備事業



伊藤武一 議員

木質バイオマス事業に疑義

質問

事業運営会社の公募は6月下旬で、7月下旬に審査結果通知との説明でしたが4月上旬から事業運営会社が決まっているのではないかと巷で話題になっていて、単なる噂かと思うが、町長は、このような噂話を耳にしていますか。

事業母体は決まっていない

町長

巷での噂は聞いていない。三セク運営の轍を踏まないように民間事業社の公募を行い、森林整備やペレット製造に関する技術力や積極性、運営品質や企業としての熱意などを考慮した上で選考出来る公募型のプロポーザル方式を検証しています。

公務員守秘義務違反になりはしないか

質問

まだ決まっていない会社の人、挨拶まわりしているのに町は地区への説明会を行っていないと聞くが、理解は得られるのか。

地域の理解と説明は

質問

まだ決まっていない会社の人、挨拶まわりしているのに町は地区への説明会を行っていないと聞くが、理解は得られるのか。

守秘義務違反にあたらない

町長

その職員が今まで培ったものというのは、生かして使う。場合によっては地域のため、町のためにもなるということであれば悪いことでない。むしろ今迄お世話になった町に貢献するということ意味だと思える。

保育園延長時間について…

質問

保育園の第1、第3、第5の土曜日の延長についてですが、雇用の厳しい現在子供を迎えに行く時間を11時30分を12時30分頃に変更



活性化はコミュニケーションから

とはいかないものなのででしょうか。

町長

保育園の問題であります。できる取り組みはすべてやっていると思っております。

児童が保育園に入園する条件の一つに、保護者等が仕事に、あるいは求職活動により家庭での保育ができないことが挙げられますが、町の重要政策のひとつでもある子育て支援をさまざまな角度から検討を重ねています。

これからは企業の勤務形態等に合わせた形で運営していかねければならないかと思っております。改めてこの辺の検討をしたいと思っております。

質問

少子高齢化で人口の減少が急激に進んでいる。我が

町長

これからの取り組み

町長

一部縁故地域の関係者については説明致しておりますが、騒音、資材運搬、車の往来等の課題もあり、十分地域の皆さんにご理解頂ける様に説明していかねければならないと思っております。

公有林間伐計画は

質問

町有林の間伐計画と面積はどの位か、本年度計画は30haと聞きますが長期的原料確保計画を伺う。

年間千トン生産目標

町長

町有林の間伐だけで千トンのペレット生産は耐えられない。民有林、公林の供給体制の確立も必要でありこの取り組みをしていかなければならない。間伐の計画や供給体制の整備を踏まえ、検討していく考えです。

伐採から販売までの計画



宝の山となるか…

質問

伐採、搬出、生産、販売まで一貫して行うとのことですが、雇用を活性化に寄与できるのか疑問に思えるかがどうでしょうか。

再考の余地がある

町長

基本的には町からの委託事業で、プラント、事務所、附帯施設の維持管理、間伐材の運搬、ペレット製造及び販売等一括委託事業を予定しているわけですが、再考の余地があります。

活性化、雇用の場の確保を図り住民の目に見えるような雇用であったり活性化につながるようにしていきます。



入倉政盛議員

労働者の賃金底上げを

公契約の適正化を

質問1

長引く不況の中、町と契約された業者の業務に従事している労働者の労働条件や賃金の実態を把握しているのでしょうか。

行政の効率化や民間の活力導入を進め、自治体業務に外部委託・臨時パートへの置き換えなどが進み、その発注業務が生活も困難な低賃金であるならば行政が自ら町民の生活悪化に手を貸すことになり、行政の責務に逆行することになります。受注企業に雇用されている労働者の労働が適正に行われるよう、公共の仕事にまともな賃金やルールを作るのが重要ではないのか。

公契約による受注企業の労働者の賃金や労働条件は同地域の民間事業に劣らない有利なものでなければならぬとILO条約にもあります。

各行政区でも最低賃金ぐらゐのところをやっている公契約の事業者もいると聞

いています。

町長

委託業務及び指定管理者制度、総合評価方式による落札業者等の労働者の実態把握についてですが、受託者あるいは請負者に成果を求める性質の内容であり、個々についての内情を開示させるといふ制度でもございませぬから、その様な観点からは町内労働者の一人ひとりの実態を把握するというのは実際のところ困難でもあり現在やっていますわけではありませぬ。

労働者と使用者との間で決められた就労に関する条件でありませぬから、労働基準法に基づく、働くものが生活を営むために必要を満たすものでなければならぬという定めに従って、具体的に賃金あるいは就業時間、休息のほか休日などもちゃんと定められている元で、執行されていると認識しています。

それぞれの会社の事業にもよってやられているというところは、私も確認しております。

法的権限ない 税回収機構

質問2

新潟県は地方税回収機構を設立し、主に住民税とありますが、町としての取り組みの実態はどのようなものか、また、特別機動整理班も設置されましたが具体的に説明をお願いいたします。

町長

阿賀町は新潟地域運営会議に属し、県税部、新潟市と五泉市と阿賀町とで組織運営されています。当町は新潟地域振興局の県税部に所属しています。

特に高額滞納や徴収が困難な案件を中心とした滞納徴収を取り扱っております。

成果の第1に挙げられるものには、納税相談の方法手段です。滞納の圧縮整理はもちろんです、生活の再建を含め、親身になって取り組んでいます。

質問

この組織は任意組織であつて、設立の法的根拠もな

いわけですが、中には行政文書を出して滞納処分の差押さえなど威圧をかけるような内容で徴収しているところも聞いていますが、町もその機構にいるわけですのでどのような指導なり、やっておられるのか。

町長

これは法に基づいて十分話もし、いろいろ協力を求め、それから滞納にならないような納入の方法もあって私どものほうは協力を求められやすい指導の形でお話をさせていただいていきます。決して威圧するとかそういう形はとっておりませぬ。

ただ滞納整理については別です。これはやはり公平の観点から法に基づいてきちつとやっておりますのでご理解いただきたい。



県との懇談で、地方税徴収機構の問題を追及する

農業集落排水事業の機能強化について

渡部英夫議員

水環境をめぐる 状況変化に対応して

質問

都市部にくらべ立ち遅れていた汚水処理施設「農業集落排水」の整備が進みましたが、町内での施工実績はどのくらいか。また、経年変化に伴い排水浄化に不具合が生じたり、臭気が発散したりで地域住民に迷惑がかかることが当然のことながらあつてはならないと思います。

町長

関係施設は農業集落排水が22施設、公共下水が1施設、特別環境下水が4施設あり、農業集落排水事業の機能回復事業として機能強化対策事業がある。

質問

機能強化対策事業を取り組むにあたり必須条件は何か。また補助内容はどのようなものか。今まで取組まれ機能回復できた施設数はどのくら

いか。今後取り組まなければならぬ施設数。その実施予定年度と概算事業費をお聞かせ頂きたい。

町長

事業の採択要件は農業集落排水事業が対象で、改築に要する費用が200万円以上、かつ使用開始後7年以上経過した施設、あるいは人口の著しい増加等、既存施設を取り巻く条件の変化と規定されています。補助率は国50%で、県の補助は平成20年度で終わっています。本町では3施設が完了済みで、今後、平成26年度までに2施設、平成31年度までに2施設、計4施設概算事業費は5億円を予定しています。ほかの施設につきましても必要に応じ施設機能の維持向上を念頭に関係住民の皆様にご迷惑をかけるまいよう努めて参ります。

質問

極端に加入率が低い施設の対応は

法的権限ない 税回収機構

質問2

新潟県は地方税回収機構を設立し、主に住民税とありますが、町としての取り組みの実態はどのようなものか、また、特別機動整理班も設置されましたが具体的に説明をお願いいたします。

町長

阿賀町は新潟地域運営会議に属し、県税部、新潟市と五泉市と阿賀町とで組織運営されています。当町は新潟地域振興局の県税部に所属しています。

特に高額滞納や徴収が困難な案件を中心とした滞納徴収を取り扱っております。

成果の第1に挙げられるものには、納税相談の方法手段です。滞納の圧縮整理はもちろんです、生活の再建を含め、親身になって取り組んでいます。

質問

この組織は任意組織であつて、設立の法的根拠もな

いわけですが、中には行政文書を出して滞納処分の差押さえなど威圧をかけるような内容で徴収しているところも聞いていますが、町もその機構にいるわけですのでどのような指導なり、やっておられるのか。

町長

これは法に基づいて十分話もし、いろいろ協力を求め、それから滞納にならないような納入の方法もあって私どものほうは協力を求められやすい指導の形でお話をさせていただいていきます。決して威圧するとかそういう形はとっておりませぬ。

ただ滞納整理については別です。これはやはり公平の観点から法に基づいてきちつとやっておりますのでご理解いただきたい。

集落排水事業で実施したもののうちで極端に加入率の低いものがある。先の議会に加入促進に努め、経営安定に努力することについてありましたが、その改善の方向性は出たのでしょうか。

町長

一番水洗化率の低かった津川地区が65%程度まで上がつてきており、農業集落排水全体で88%、林業集落排水で100%、公共・特環もあわせ75%であり、まずは満たされていると思つている。さらに周辺環境を良くすることを丁寧に説明し鋭意努力を重ねて参りたいと思つています。

未加入者支援の 解決策として

質問

加入率が極端に低い集落の問題として、経済的な問題が大きいのではないかと思ふわけですが、その解決策として、本年度から木質

バイオマス事業がスタートしますが、当町には燃料革命で薪炭林、薪山が荒れ放題になっていますが、町の指導により木質バイオマス事業で引き取って未加入の方の経済支援に充てられないものでしょうか。

町長

ひとつの参考事例として勉強させていただきたい。上流域に住む者として最高の努力をしていると思つています。借入れしやすいように金融機関に預託という形もとっている。80%台に上がってくればと思つている。



八ツ田浄水場

町内 避難者の声

東日本大震災で被災し、本町に避難されている方々の声をお伝えします。



震災にまけないで！（小会瀬旅館）

地元の人達との 交流の場の提供に感謝

田 仲 けふ子
(南相馬市)

震災から4ヶ月が経過しました。家族4人全員で阿賀町に避難でき大変良かったと思っています。

避難所では、役場の方をはじめ、警察の方、保健師さん達に健康チェックをしていただき、時には話し相手になってもらったりと本

当にありがとうございます。二次避難所での旅館でも保健師さん達の健康チェックは続いています。

また、部屋から出る事が少なくなった母達には、地元の高齢者の方々との交流の場にも誘って頂き、今では週に一度の2時間程の交流の機会に感謝しております。

今後は両郷地区に移動する予定ですが、地区の皆様をはじめ津川警察署の方々保健師の皆様、まだまだ避難生活は続きますがこれからも何とか頑張っていきます。また、現在は12名となった共同生活の避難者の皆様も宜しくお願いします。

温かい人の多い 阿賀町が大好き

服 部 泰 子
(二本松市)

3月11日の大震災では、二本松市でも震度6強でした。翌日には福島第一原発で事故が起き、私達の町にも大量の放射能が降り注ぎました。

地震当日に卒業式を終えた中学と小4の息子そして幼稚園の娘の3人を連れ、父の実家のある阿賀町に3月19日から2週間避難して来ました。終業式も無いままの下の2人の子供達でしたが、4月7日に始業式という事で帰宅しました。

しかし外では全く遊ぶ事ができない子供達。この放射線量下で子供を住まわせて良いのだろうか。20年後30年後の子供達の健康状態等を考え、外でのびのびと遊ばせてやりたいとの思いで子供2人を連れ、5月15

日再度阿賀町に避難して来ました。高校に入学した長男は、自分の意志で地元に残る決断をしました。

原発から直線距離で42kmにある自宅は避難区域にも指定されず、自主避難して来た私達に阿賀町はとても優しく、現在、あすなる荘にお世話になっています。また小5の息子は上条小学校で受け入れてもらっています。

今、原発では壊れた建屋から放射能が漏れないように外部を覆う建屋を建設中で、それが完成するまで、阿賀町にお世話になる予定です。本当に自然豊かで、心の温かい人達がいる阿賀町が私達家族は大好きです。本当にありがとうございます。そして今後も宜しくお願い致します。

緊急を要する地籍(国土)調査 危険な非常階段のある集落開発センター



星 公 司 議員

地籍(国土)調査の 促進を

合併前に三川地域では地籍(国土)調査をされた実績がありますが、まだ全部終わったわけではないと聞いています。

そこで、残された宅地、山林、田畑があるかと思いますが、今後どのようにされるのか、住民の協力がなければ、この事業は実施・推進することがむずかしいと思います。町長の考えを伺います。

また、高齢化率も年々高くなってきていますが、地籍(国調)の着手が遅れば遅れるほど、土地の境界に関する記憶が薄れたり、境界杭などの目印などが失われたりする確立が高くなります。

定はどうなっているのか併せて伺います。

筆界(境界) 未定地は解決方向で

町長

全域ということで、今取り組もうとしているわけですから、解決していく方向で進めたいと思っています。今回、木質バイオでの間伐を施行するにあたって林野を中心に取り組んでいきたいということで、全体計画の策定については今年度中にやり、概要が決まりましたら、また皆さんにお示しをしていきたいと思っています。



一筆地調査

土地所有者等の立会により、境界等の確認をします。

老朽化した栃堀区の 開発センターの整備を急げ

質問

非常階段が老朽化によって使えない状態にあります。危険ですので早めの改修の必要があるかと思いますが、集落開発センターの新築を含め町長の考えを伺います。

新築要望もあり 十分に協議したい

町長

緊急性を帯びてきている部分については、早急に手当をしていこうと基本的には考えていますので、いずれかの手法をもって、対応していきたいと考えています。ご理解を賜りたいと思います。

弱者目線で

再質問

2階での会合は、階段を上り下りしな



老朽化した非常階段のある集落開発センター(栃堀区)

年次計画での 取り組みを

町長

今年度だめとしても、前向きに取り組んでいくということ、ひとつお願いしたいと思っています。